

16 へき地教育

へき地・山間地学校の学習指導を改善・充実し、へき地教育の振興を図ることを目的として次のことに重点をおいて事業を行った。

- ア へき地・山間地における児童・生徒の学力の充実を図る。
- イ へき地・山間地の特性を生かした学校・学級経営及び学習指導の研究を深め、教師の指導力の向上を図る。
- ウ 長野県へき地教育振興協議会を支援し、広域的に本県へき地教育の振興を図る。

(1) 長野県へき地教育振興協議会

へき地・山間地の少人数学級の学級経営及び学習指導の成果や諸問題について、また、今後のこの会の運営のあり方について検討した。

期日・会場 平成 30 年 7 月 13 日（金）
栄村立栄小学校

(2) 教育支援

- ア 各教育事務所にへき地担当指導主事を置き、へき地山間地校の学校訪問に重点を置き、複式・少人数指導についての助言を行った。少人数学習担当の主事も係わった。
- イ 「教育課程編成・学習指導に基本」（青本）に、「少人数学級における指導のあり方」において、「少人数の利点を生かす少人数学習指導」について掲載し、各学校の実践に資するようにした。
- ウ 指導主事の学校訪問の際、平成 27 年度に配布した山間小規模校の教員の悩みや課題の解消に向けた手引き「少人数学級における指導の充実 ～小規模・少人数の利点を生かして～」を用いて助言した。

17 定通教育

高等学校の定時制・通信制は、働きながら学ぶ青少年に高等学校の教育を受ける機会を与えるものとして設置されてきた。しかし、近年は不登校傾向の生徒や全日制からの転編入生が増加し、多様な学びの場として重要度は増している。それに伴い、学習指導・生徒指導上の諸問題への対応とともに、多部制・単位制をはじめとする制度などの研究及び活用が課題となっている。特に、高等学校においても通級指導が箕輪進修高等学校ではじめられた。